

令和7年度全国学力・学習状況調査結果の分析

- 小学校・中学校ともに、正答数・正答率の**本市平均は全国平均を下回る結果**となっている。
- 平成27年度調査以降の結果を経年比較すると、全国平均を上回る又はその近傍値となる調査年度もあったものの、ここ数年は、全国平均からやや乖離した結果も見られる。
- また、第1四分位のこどもの正答数は全国と同じだが、**第2・第3四分位のこどもの正答数は全国に届かない。**
- さらに、特に北九州市の児童生徒は、「**目的に応じて文章を読み、必要な情報を捉える力**」(読解力)や、「**根拠を明確にして説明する力**」(説明する力)に特に課題があると考えられる。

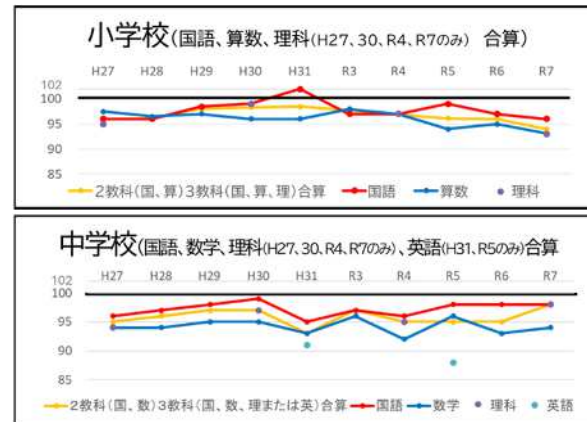
◆令和7年度全国学力・学習状況調査結果(概況)

令和7年度	小学校 国語			小学校 算数			小学校 理科		
	正答数	正答率	割合	正答数	正答率	割合	正答数	正答率	割合
本市平均	8.9 / 14 問	64%	96%	8.6 / 16 問	54%	93%	9.1 / 17 問	53%	93%
全国平均	9.4 / 14 問	67%		9.3 / 16 問	58%		9.7 / 17 問	57%	

令和7年度	中学校 国語			中学校 数学			中学校 理科	
	正答数	正答率	割合	正答数	正答率	割合	平均IRTスコア	割合
本市平均	7.4 / 14 問	53%	98%	6.7 / 15 問	45%	94%	492	98%
全国平均	7.6 / 14 問	54%		7.2 / 15 問	48%		503	

※割合…全国平均正答率に対する本市の平均正答率の割合をいう。

◆全国平均正答率に対する割合(H27～R7)



◆令和7年度全国学力・学習状況調査結果(四分位数・小学校)

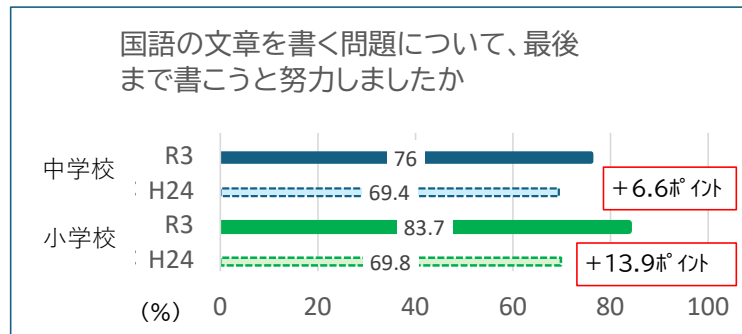
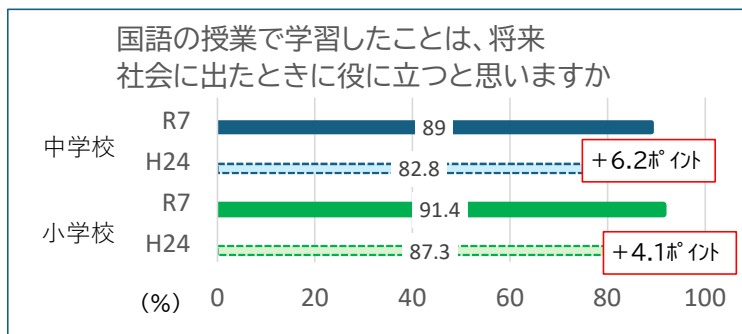
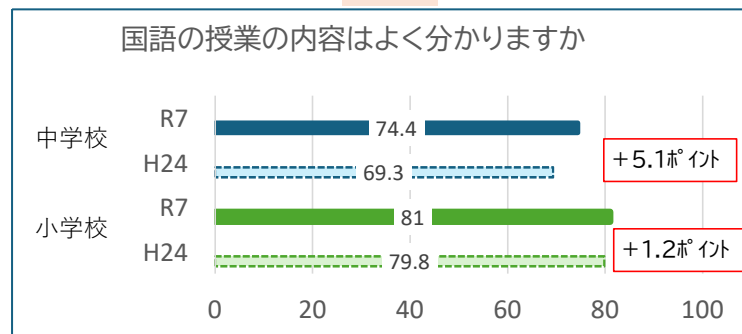
		第1四分位 (下から25%) の正答数	第2四分位 (中央値) の正答数	第3四分位 (下から75%) の正答数
国語	全国	7問	10問	12問
	北九州市	7問	9問	11問
算数	全国	6問	10問	13問
	北九州市	6問	9問	12問

◆令和7年度全国学力・学習状況調査結果【国語】正答率(抜粋)

出題の趣旨	児童【小6】			生徒【中3】		
	北九州市 (A)	全国 (B)	A-B	北九州市 (A)	全国 (B)	A-B
文章を読む目的を明確にして必要な情報を捉える	52.5%	56.3%	-3.8 ポイント	15.6%	17.1%	-1.5 ポイント
伝えたいことの根拠を明確にして書くこと	56.9%	61.3%	-4.4 ポイント	31.0%	31.0%	±0

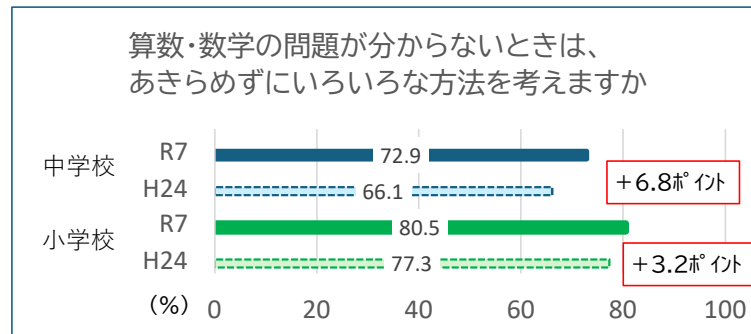
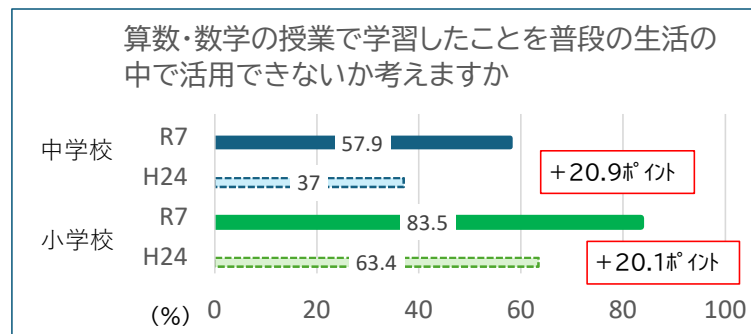
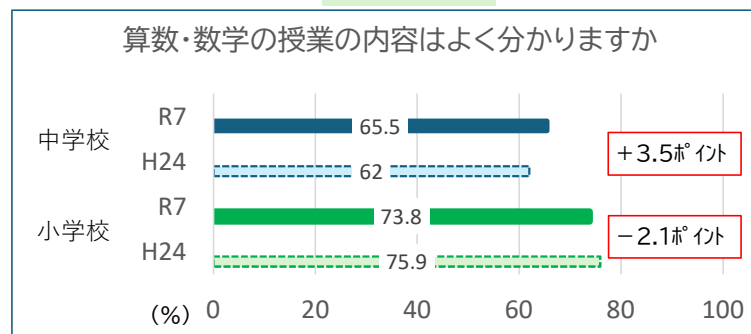
全国学力・学習状況調査 児童生徒質問調査 肯定的回答の割合

国語

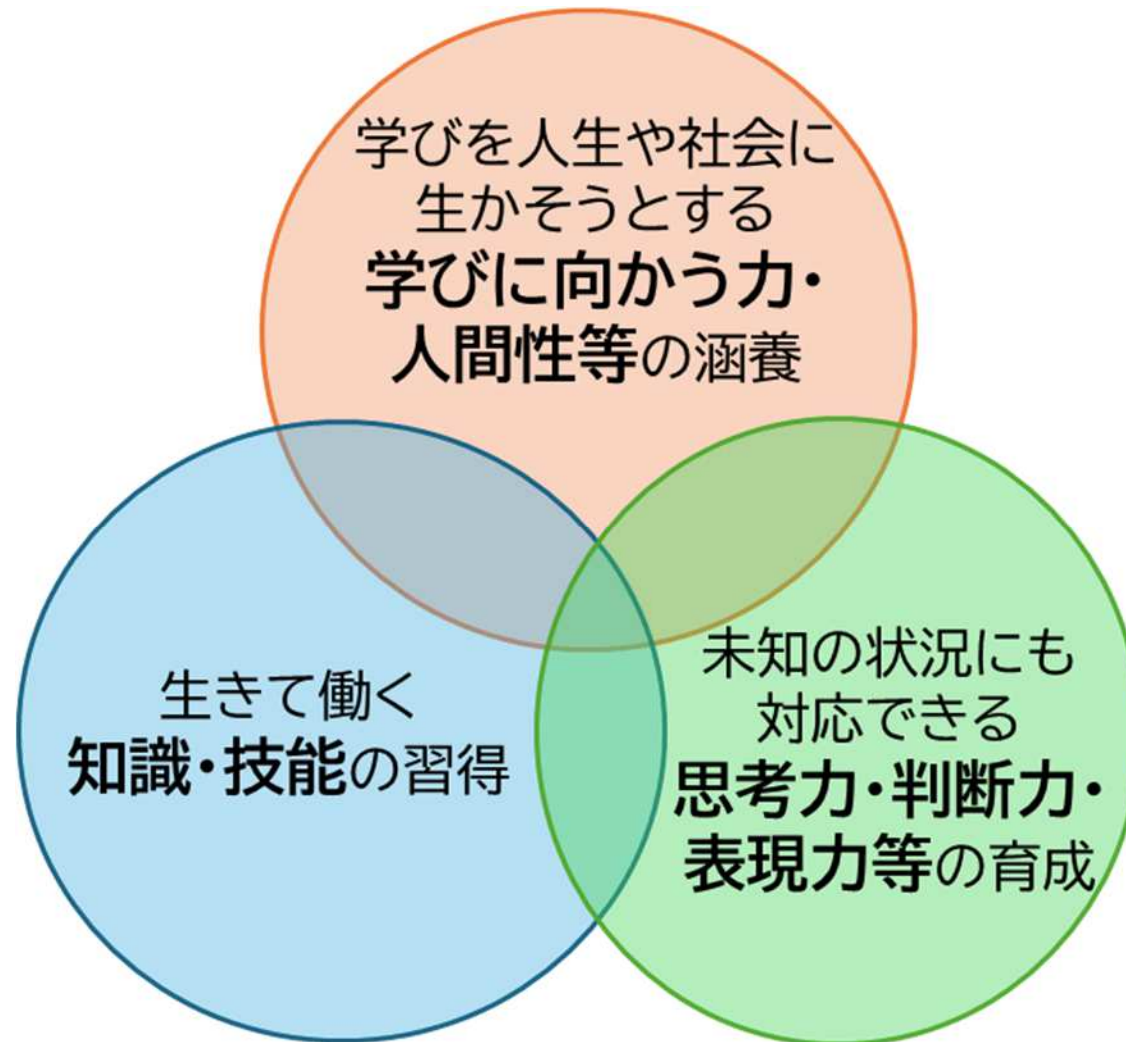


※R7に質問がなかったため、R3を参照

算数・数学



現行学習指導要領における「資質・能力」の「3つの柱」



◆北九州市こどもまんなか教育プラン

1人1人を大切にする

ミッション2

こどもが失敗を恐れず挑戦し、志と人間力を高められる環境をつくる

ミッション3

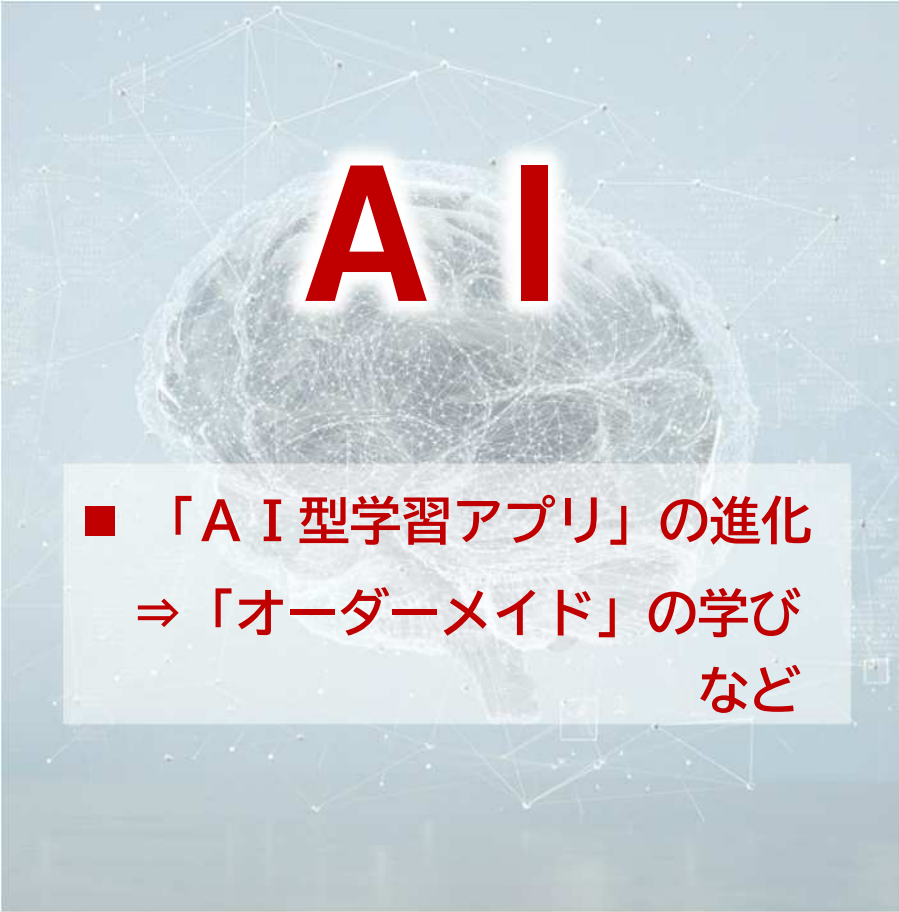
誰一人取り残さない学びと、未来を見据えた先端的な学びを進める

「学力向上」への3つのアプローチ

- ① 「A I + 読書」の強化
- ② 「体験機会」の強化
- ③ 「脱・暗記重視」

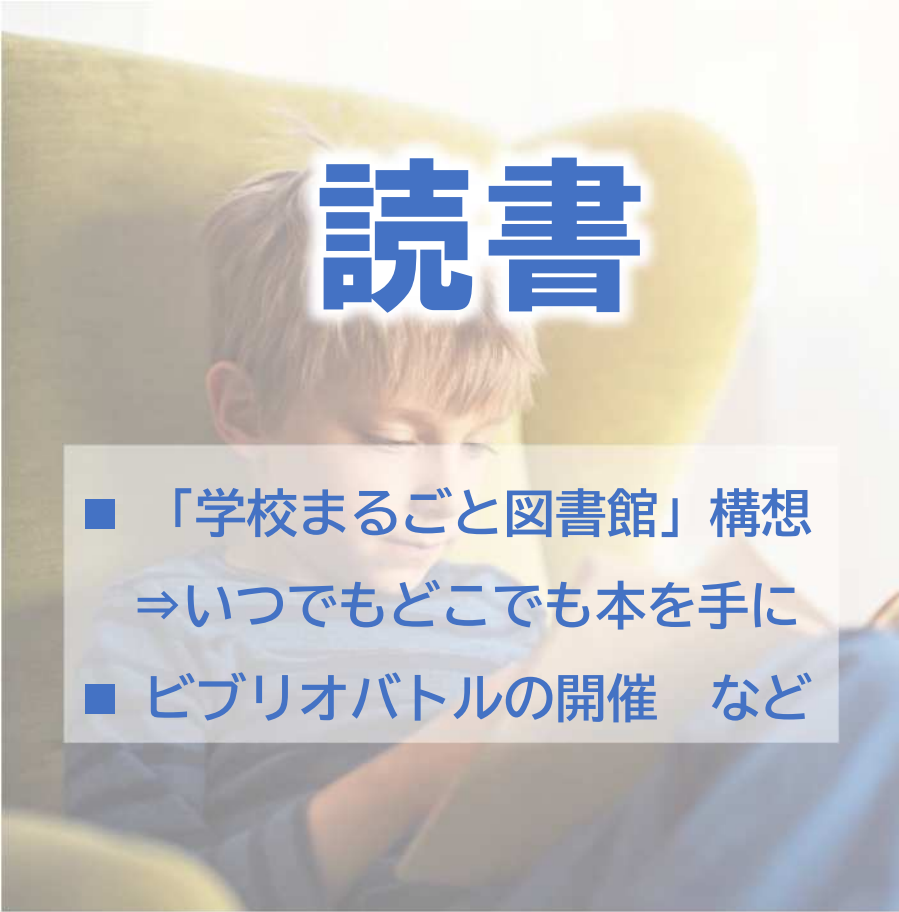
①「A I + 読書」の強化

— AI活用とAI時代に必要な言語能力向上を両輪で推進 —

A graphic featuring a stylized brain composed of a network of white lines and dots on a light blue background. The letters 'A I' are prominently displayed in the center in a large, bold, red font.

A I

- 「A I 型学習アプリ」の進化
⇒ 「オーダーメイド」の学び
など

A photograph of a young boy with brown hair, wearing a blue shirt, sitting and reading a book. The image is slightly blurred, with a warm, yellowish light in the background. The Japanese characters '読書' (Reading) are overlaid in a large, bold, blue font.

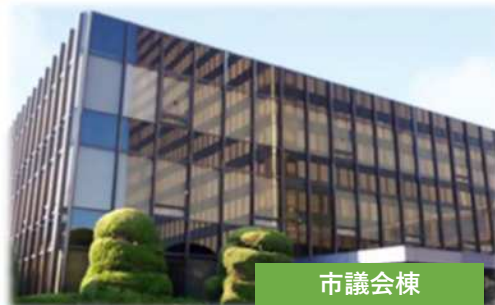
読書

- 「学校まるごと図書館」構想
⇒ いつでもどこでも本を手に
- ビブリオバトルの開催 など

②「体験機会」の強化

ー「アラカルト方式」を今年度から実施ー

北九州市には、幅広いジャンルの体験や見学ができる施設が充実



...

60を超える施設（博物館、工場、市議会棟など）から、
学校がこどもの意見も聞きつつ、**アラカルト方式で行き先を自由に選択**

③「脱・暗記重視」

— 自ら問いを見付け解決していく探究的な学びの推進 —



◀スー1★GP

現役の大学教授が作成した問題に、中学生が3人1組のチームで挑戦

理工系を志す女子をメインターゲットに、サイエンスエンターティナーによるショー等を開催

KitaQ Girls Tech事業▶



★今後、新たな学びを実現する学校づくりを更に推進